

かんきょう観察会報告 144 号

活動グループ名：板橋区の蝶を調査する会

観察日時 2021 年 12 月 4 日（土） 午前 10 時～午後 1 時

観察地域 赤塚公園番場地区～沖山地区～番場地区

参加者 浅原、小野、神山、川口、小林、佐藤、長澤、宮崎、山田、山下、米澤（計 11 名）

当日の天気 晴れ

観察結果

シロチョウ科

①キタキチョウ

②モンシロチョウ

シジミチョウ科

①ムラサキシジミ

②ムラサキツバメ（集団越冬）

③ヤマトシジミ

観察概要：

午前 10 時過ぎに赤塚公園番場地区で冬に生息している蝶を探し始めました。天気は晴れ、12 月としては暖かい絶好の観察日となりました。番場地区ではマテバシイの木がたくさん繁っており、7 月頃から 12 月頃までムラサキツバメの生息が確認されています。昨年も、ムラサキツバメがマテバシイの葉で集団越冬しているのを確認しています。昨年と同じ朝陽の当たる、高さ 2m 程のマテバシイの葉で 7～8 頭位のムラサキツバメが集団で越冬しているのを確認しました。

この近くには、ジャコウアゲハの生息場所もあり、蛹を探したところ、今回は蛹の確認ができませんでした。食草であるウマノスズクサがまだ葉を茂らせています。ジャコウアゲハの幼虫は、蛹になる前に食草であるウマノスズクサの茎を噛み切るので、冬越しの蛹がいれば、ウマノスズクサの茎は幼虫時に噛み切られて、もう枯れている状況になっていることが多いようです。来春、どこからかジャコウアゲハの成虫が飛んできて、卵を産んでくれる事を祈ります。

ここでは、背中の特徴である、成虫越冬中の *エキモンキツカムシ* を見つけました。

ここから赤塚公園の沖山地区に移動しました。沖山地区南東部の道路側は昨年、マテバシイの大木を 5～6 本伐採して、後方の斜面の所に陽をいれるように改修しました。また、今年もマテバシイの一部の剪定等が行われています。昨年は、シュロの葉の所で集団越冬を確認しましたが、昨年集団越冬していたシュロの葉が剪定で落とされていました。しかし、よく観察していると、1 頭のムラサキツバメがシュロの葉の奥に入り込んでいき、その先を確認しているとムラサキツバメの集団（10 頭程）が確認できました。今日は暖かで気温が高くなっているので、ムラサキツバメが陽だまりで羽を広げて暖まっている姿が多く見られました。

ここでは他にアオスジアゲハの蛹（寄生虫に食べられてしまった殻）、キタキチョウ・モンシロチョウ・ムラサキシジミ・ヤマトシジミが確認できました。

他の昆虫ではナミテントウが確認できました。

植物では、陽が当たる暖かい場所では、ヒメジョオン・ムラサキカタバミ・ノグシ・イヌタデ・イヌビエ等が観察出来ました。

ここから、昼食をするための移動途中で、番場地区のムラサキツバメが集団越冬している場所を

再確認したところ、1頭は確認できましたが、ほとんどが飛び去っていました。暖かくなったので、マテバシイの周辺で飛び回っているものと想像し、観察は終了としました。

今日は、ジャコウアゲハの蛹は確認できませんでしたが、ムラサキツバメの越冬集団をはじめ 5種の蝶を観察出来ました。

(2021年12月4日観察会写真)



番場地区ムラサキツバメ集団



沖山地区ムラサキツバメ集団



沖山地区キタキチョウ



沖山地区ムラサキシジミ



沖山地区ムラサキツバメ♂



沖山地区ムラサキツバメ♀



沖山地区ヤマトシジミ



沖山地区アオスジアゲハ蛹(寄生)



番場地区エサキモンキツカメシ



沖山地区ナミテントウ



番場地区ウマノスズクサ



沖山地区イヌタデ



沖山地区ヒメジョオン



沖山地区ムラサキカタバミ